

分野：⑨資源・エネルギー

(自然エネルギー体験学習)

環境アドバイザー

國井 範彰

対象 ほしのみや保育園 園児（75人）

所要時間



2時間

場所 社会福祉法人古宮会ほしのみや保育園

実施時期

令和3年7月5日

概要

いろいろな電気の作り方を体験して学ぶ。

- 1.太陽光発電で動くグッズ；太陽の代わりに白熱電球を使用。
- 2.手回し発電機でLEDと白熱電球の違い、20秒間で作れる電気の計測。
- 3.団扇の風で風車を回し発電。 4.ふりふり電池；磁石を上下に動かして発電
- 5.手回し発電でNゲージの電車を走らせる事を体験。

プログラムの ねらい

- ・2017年3月、園舎に太陽光発電を設置した。それ以降毎日園児が先生と一緒にその日の天気と発電電力を計測、記録している。
- ・毎日計測している電気がどんなものかをグッズを使って体験する。
- ・身近なもので電気を作る事が出来ることを体験する。

プログラムの内容

1. コロナ対策のため、3歳～5歳児混合の10名程の小グループに分かれ、各グループに先生が付いて、順次各コーナーをまわる。
2. 各コーナー
 - ①太陽光発電グッズコーナー
雨天室内開催のため、太陽の代わりに白熱電球を使い、バッタ、トンボ、フラワー、などの模型を手にとって光で動く事を確認。
 - ②手回し発電コーナー
手回し発電機でLEDと白熱電球を点灯させ、違いを体験。別の発電機で20秒間実際に電気を作り、その電力量を計測する。
 - ③風力発電&ふりふり電池コーナー
団扇の風で風車を回して発電、ふりふり電池を使って発電体験。
 - ④電車コーナー
手回し発電機の電気でNゲージの電車を走らせる。



受講者の反応

- ・見慣れぬスタッフがたくさんいて、普段と違う雰囲気には最初は馴染めなかったが、引率の先生のリードで慣れ楽しんでた。
- ・見るだけではなく、実際にもものに触り、発電機を回す体験が主体の学習のため、楽しんでたと思う。楽しんだ事が少しでも記憶に残っていてくれれば Good であろう。

